

医 療 安 全

医療安全の確保と医療の質の担保は最重要課題となっている。これらを実現するためには、病院職員のみならず臨床実習を行う学生も留意しなければならない。

医療安全を実現するための目標

- 1 安全文化の醸成
- 2 患者の医療参加
- 3 問題解決型アプローチの実践
- 4 スタッフ間の効果的なコミュニケーション
- 5 医療事故発生リスクの予測と対策
- 6 自己の健康管理
- 7 業務手順と医療安全管理マニュアルの遵守

各項目における要件

1 安全文化の醸成

- ・患者が期待する医療を確実に提供するためには、医療安全が最優先される。
- ・高度・複雑化・多様化した医療を効率的に提供するために、医療安全を推進する必要性を理解する。
- ・医療安全を実現するために、医療プロフェッショナルとして最新知識と技術を修得する真摯な姿勢を維持する。
- ・臨床実習で知り得た患者情報を公共の場で話題に出す、SNS 等に投稿するなど守秘義務に違反しない。

2 患者の医療参加

- ・患者自身にフルネームを名乗ってもらって患者確認を行い、誤認防止する。
- ・患者の手術・検査部位の確認は、必ずマーキングや患者の自己申告等と照合する。
- ・患者の知る権利を尊重し、臨床実習において必要なことを説明して同意を得る。

3 問題解決型アプローチの実践

- ・医療・療養における患者の希望や疑問について、スタッフに正しく伝達する。
- ・医療チームの一員として、患者が抱える問題について持てる知識と技術で誠実に向き合う。
- ・現存する医療資源を適切に用いて最良の結果が得られるように熟慮する。
- ・時機を逸せずに、包括的・的確に学生カルテ記載を行う。

4 スタッフ間の効果的なコミュニケーション

- ・学生同士・指導教官・患者とその家族、その他のスタッフと効果的な意見交換を行い、有機的な人間関係の構築に貢献する。
- ・医療チームの一員として、チームワークの促進に努める。

5 医療事故発生リスクの予測と対策

- ・実習においてリスクがある手技を行う際には、事前シミュレーションを行い、勝手な判断を下さないように注意する。
- ・実習環境に内在する危険を注意深く察知して、知り得た情報をスタッフに伝達する。
- ・患者に有害事象が発生した場合は、医療安全管理マニュアルに従って適切に対処する。

6 自己の健康管理

- ・常に万全の体調で臨床実習に臨む。
- ・患者やその家族，スタッフに疾病を感染させないように留意する。
- ・院内感染マニュアルに従って感染予防に努める。

7 業務手順と医療安全管理マニュアルの遵守

- ・医療チームの一員として，臨床実習にあたって各部署で定められた業務手順や医療安全管理マニュアルに定められた内容を遵守する。
- ・医療チームの一員として実習を行っているため，病院職員を対象とした「医療安全に関する講演会」に出席して，医療安全に関する最新かつ必要な情報を収集する。